

主要な業務に関する事項

1. 事業の概要

当会計年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の波が変異株の出現等により断続的に訪れ感染症対策が長期化していることに加えて、ウクライナ情勢等による資源価格の高騰や円安の加速等、経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。ペット業界については、コロナ禍で好調だったペットの新規飼育需要に落ち着きが見え始めるも、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等による在宅時間の長期化等から、新たにペットを飼い始める飼育者の数が増加いたしました。また、在宅時間が増えたことで、ペットとのコミュニケーションやケアに時間をかける飼育者が増加し、ペット関連産業も堅調に推移いたしました。新しい生活様式が定着する中、ペットを大切な家族の一員と考える方が増加していることなどを背景に、上記分野を中心とした需要は継続するとみられており、今後もペット関連市場は拡大していくものと予測しております。

このような情勢のもと当社では、主に以下の3点に注力して取り組んでまいりました。

1つ目は、ガバナンス（経営管理）の強化になります。当会計年度においては、経営方針・課題等の周知・浸透方法の見直し及び部門毎のKPIマネジメント態勢の強化に取り組みました。

2つ目は、コンプライアンス・リスク管理の強化になります。当会計年度においては、システムバックアップ体制の見直し、外部の専門機関による脆弱性診断の実施や情報セキュリティに関する研修態勢の強化等、主にシステムリスク管理態勢の強化に取り組みました。

3つ目は、デジタル化の推進になります。当会計年度においては、保険金支払通知の電子化、保険金請求の電子化等を実施いたしました。これまで書面で行っていた保険金支払通知や保険金請求手続きを電子化することで、お客さまの利便性を高めることができたと考えております。

本年度の事業成果（収益等）としては、収入保険料3,054,008千円（昨年同期比+623,703千円）、保有契約件数128,892件（昨年同期比+21.6%）となりました。費用については、保険金等支払1,390,861千円（昨年同期比+380,689千円）、事業費1,226,494千円（昨年同期比+128,832千円）となりました。会計ベースの出再控除前の合算率は、86.3%（昨対比▲1%）と改善いたしました。普通責任準備金の繰入額が+297,710千円（昨年同期比+201,601千円）と増加いたしましたので、結果、経常利益▲66,604千円（昨年同期比▲74,053千円）、当期純利益▲54,766千円（昨年同期比▲58,703千円）と、前年度よりも利益が減少して当期純利益がマイナスとなりました。

当社では、以下の項目を対処すべき重要な課題と認識しています。

1. お客さまのニーズに対応した商品・サービスの提供

近年、新型コロナウイルス感染症の影響による在宅時間の増加（ペットと一緒に過ごす時間の増加）やペット医療の高度化による治療費用の高額化等、お客さまとペットを取り巻く環境は大きく変化しております。こうした背景からペット保険への関心がさらに高まるとともに、お客さまニーズも少しずつ変化してきていると考えており、お客さまの期待・ニーズに応えられる保険商品・サービスを開発したいと考えております。

2. コンプライアンス・リスク管理の強化

当社は、コンプライアンス・リスク管理は経営の根幹をなすものであるとの認識を持っております。この認識に基づき、お客さまが安心して当社サービスをご利用いただけるよう、コンプライアンス・リスク管理の強化に引き続き取り組んでまいります。

3. 経営基盤の強化

当社は、保有契約件数及び収入保険料において比較的高い水準で成長を続けており、今後も成長を見込んでおります。持続的な成長と当社が掲げるお客さま本位の業務運営を高い次元で両立させるべく、経営基盤の強化に取り組んでまいります。

2. 直近の3事業年度における主要な業務の状況を示す指標

(単位：千円)

項目	2019年度	2020年度	2021年度
	金額	金額	金額
経常収益	1,862,560	2,505,347	3,360,359
経常利益	72,635	7,449	▲66,604
当期純利益	55,138	3,937	▲54,766
資本金の額	63,000	63,000	63,000
発行済株式の総数	2,520株	2,520株	2,520株
保険業法上の純資産額	527,591	599,618	625,794
総資産額	1,422,482	1,738,868	2,145,575
責任準備金残高	839,840	1,004,039	1,382,691
有価証券残高	—	—	—
ソルベンシー・マージン比率	407.1%	366.2%	316.5%
配当性向	—	—	—
従業員数	65名	83名	98名
正味収入保険料の額	1,844,564	2,269,843	2,698,103

3. 直近の2事業年度における業務の状況を示す指標等

(1) 主要な業務の状況を示す指標等

① 正味収入保険料

(単位：千円、%)

	2020年度		2021年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	2,269,843	100%	2,698,103	100%
その他の保険	—	—	—	—
合計	2,269,843	100%	2,698,103	100%

② 元受正味保険料

	2020年度		2021年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	2,414,578	100%	3,031,576	100%
その他の保険	—	—	—	—
合計	2,414,578	100%	3,031,576	100%

③ 支払再保険料

	2020年度		2021年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	145,242	100%	335,941	100%
その他の保険	—	—	—	—
合計	145,242	100%	335,941	100%

④ 保険引受利益

	2020年度		2021年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	6,724	100%	▲68,366	100%
その他の保険	0	—	0	—
合計	6,724	100%	▲68,366	100%

⑤ 正味支払保険金

	2020年度		2021年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	1,002,967	100%	1,237,866	100%
その他の保険	—	—	—	—
合計	1,002,967	100%	1,237,866	100%

⑥元受正味保険金

	2020年度		2021年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	1,010,172	100%	1,390,861	100%
その他の保険	—	—	—	—
合計	1,010,172	100%	1,390,861	100%

⑦回収再保険金

	2020年度		2021年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	7,205	—	152,995	100%
その他の保険	—	—	—	—
合計	7,205	—	152,995	100%

(2) 保険契約に関する指標等

①契約者配当金

該当事項はございません。

②正味損害率、正味事業費率及びその合算率

	2020年度			2021年度		
	正味損害率	正味事業費率	合算率	正味損害率	正味事業費率	合算率
ペット保険	44.2	45.4	89.6	45.9	39.9	85.8
その他の保険	—	—	—	—	—	—
合計	44.2	45.4	89.6	45.9	39.9	85.8

③出再控除前の発生損害率、事業費率及びその合算率

	2020年度			2021年度		
	発生損害率	発生事業費率	合算率	発生損害率	発生事業費率	合算率
ペット保険	49.7	49.2	98.9	52.0	43.3	95.3
その他の保険	—	—	—	—	—	—
合計	49.7	49.2	98.9	52.0	43.3	95.3

④出再を行った再保険会社の数と支払再保険料のうち上位5社の割合

	2020年度	2021年度
出再を行った再保険会社の数	1	1
支払再保険料のうち上位5社の割合	100%	100%

⑤支払再保険料の格付ごとの割合

	2020年度	2021年度
A以上	100%	100%
その他	—	—
合計	100%	100%

格付区分は、日本格付研究所（JCR）の格付を使用しております。

⑥未収再保険金の額

	2020年度		2021年度	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	30,899	—	40,416	100%
その他の保険	—	—	—	—
合計	30,899	—	40,416	100%

(3) 経理に関する指標等

①支払備金

(単位：千円、%)

	2021年3月末		2022年3月末	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	270,811	100%	343,394	100%
その他の保険	—	—	—	—
合計	270,811	100%	343,394	100%

②責任準備金

	2021年3月末		2022年3月末	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	1,004,039	100%	1,382,691	100%
その他の保険	—	—	—	—
合計	1,004,039	100%	1,382,691	100%

③利益準備金及び任意積立金の区分ごとの残高

	2021年3月末		2022年3月末	
	金額	構成比	金額	構成比
ペット保険	—	—	—	—
その他の保険	—	—	—	—
合計	—	—	—	—

④損害率の上昇に対する経常利益の変動の額

	2021年3月末	2022年3月末
損害率上昇のシナリオ	発生損害率が1%上昇すると仮定	発生損害率が1%上昇すると仮定
計算方法	正味既経過保険料×1%	正味既経過保険料×1%
経営利益の減少額	21,635	25,216

(4) 資産運用に関する指標等

①資産運用の概況

(単位：千円、%)

	2020年度		2021年度	
	金額	構成比	金額	構成比
預貯金	1,242,349	71.4	1,540,494	71.8
金銭信託	—	—	—	—
国債	—	—	—	—
地方債	—	—	—	—
政府保証債	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
運用資産計	1,242,349	71.4	1,540,494	71.8
総資産	1,738,868	100.0	2,145,575	100.0

②利息配当収入の額及び運用利回り

	2020年度		2021年度	
	金額	利回り	金額	利回り
預貯金	12	0.00	13	0.00
金銭信託	—	—	—	—
有価証券	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
合計	12	0.00	13	0.00

③有価証券の種類別残高及び構成比

該当事項はございません。

④保有有価証券の利回り

該当事項はございません。

⑤保有有価証券の種類別の残存期間別残高

該当事項はございません。

4. 責任準備金の残高の内訳

2021年3月末現在

(単位：千円)

	普通責任準備金	異常危険準備金	契約者配当準備金等	合計
ペット保険	713,874	290,165	0	1,004,039
その他の保険	—	—	—	—
合計	713,874	290,165	0	1,004,039

2022年3月末現在

	普通責任準備金	異常危険準備金	契約者配当準備金等	合計
ペット保険	1,011,583	371,107	0	1,382,691
その他の保険	—	—	—	—
合計	1,011,583	371,107	0	1,382,691